

チェックシート1(景観形成重点区域 外)

(表)

1) 建築物、工作物

共通	<input type="checkbox"/> 地域の特性を考慮し、周辺景観との調和に配慮すること。 <input type="checkbox"/> 行為地において良好な景観を形成している建築物、その他の工作物、樹木などの自然の保全に配慮すること。 <input type="checkbox"/> 優れた景観を有する自然や施設などに近接する又は背景とする場合は、主要な視点場からの景観を損なわないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 歴史的建築物など優れた景観資源の背景を保全することが必要な地域においては、その背景景観を損なわないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 尾根付近では、稜線のシルエットを乱さない位置や高さとする。
	具体の配慮事項
位置 ・ 規模	<input type="checkbox"/> 主要な視点場からの眺望を妨げない位置及び高さとする。 <input type="checkbox"/> 道路などの公共空間に敷地が接する場合には、境界付近のゆとりある空間の創出に配慮すること。
	具体の配慮事項
形態 ・ 意匠	<input type="checkbox"/> 周辺の景観と調和し、全体としてまとまりのある形態・意匠とすること。 <input type="checkbox"/> 長大な壁面は、周囲への圧迫感を与えないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 屋外設備や付帯施設などは、公共空間に露出しないよう努め、当該建築物との一体性の確保に配慮すること。
	具体の配慮事項
色彩	<input type="checkbox"/> 基調色はできる限り彩度を抑えるとともに、周辺景観と調和した色調とすること。 <input type="checkbox"/> 屋外設備や付帯施設などの色彩は、当該建築物及び周辺景観との調和に配慮すること。
	具体の配慮事項

(裏)

素材 ・ 緑化 など	<input type="checkbox"/> 周辺景観と調和した素材や地域の風土に合った素材の活用に配慮すること。 <input type="checkbox"/> 経年変化を考慮して、耐久性及び耐候性に優れた素材の活用に配慮すること。 <input type="checkbox"/> ガラスなど光沢性のある素材を大きな面積で用いる場合は、周辺景観との調和に配慮すること。 <input type="checkbox"/> 敷地内は、できる限りの緑化に努めるとともに、道路などの公共空間に接する場所への緑化に努めること。 <input type="checkbox"/> できる限り地域の環境に適した在来種や地域に馴染んだ樹木を選定すること。 <input type="checkbox"/> 建築物などが周辺に与える圧迫感を和らげるよう、樹種や樹木の高さ、植栽位置等を考慮すること。 <input type="checkbox"/> 屋外照明は、過剰な光量とならないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 工事期間中は、周囲の緑化や仮囲いの修景など、周囲の道路からの遮蔽に努める。	
	具体の配慮事項	
その他	特に留意した点	

備考 該当する項目の□内に✓印を付してください。

2) 開発行為、土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更

共通	<input type="checkbox"/> 地域の特性を考慮し、周辺景観との調和に配慮すること。 <input type="checkbox"/> 行為地において良好な景観を形成している建築物、その他の工作物、樹木などの自然の保全に配慮すること。 <input type="checkbox"/> 優れた景観を有する自然や施設などに近接する又は背景とする場合は、主要な視点場からの景観を損なわないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 歴史的建築物など優れた景観資源の背景を保全することが必要な地域においては、その背景景観を損なわないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 尾根付近では、稜線のシルエットを乱さない位置や高さとする。	
	具体の配慮事項	
工法 など	<input type="checkbox"/> 土地が不整形となる分割又は細分化は行わないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 現況の地形をできる限り活かし、長大な法面や擁壁が生じないようにすること。 <input type="checkbox"/> 法面はできる限り緩やかな勾配とし、周辺の植生と調和した緑化を施すこと。 <input type="checkbox"/> 擁壁は周辺景観と調和した形態及び素材とすること。 <input type="checkbox"/> 造成などに際しては、できる限り既存樹木の保全に努めること。	
	具体の配慮事項	
その他	特に留意した点	

備考 該当する項目の□内に✓印を付してください。

チェックシート 2 (景観形成重点区域 内)

(表)

1) 建築物、工作物

共通	<input type="checkbox"/> 地域の特性を考慮し、周辺景観との調和に配慮すること。 <input type="checkbox"/> 行為地において良好な景観を形成している建築物、その他の工作物、樹木などの自然がある場合には、できる限り形状を変えず保全すること。 <input type="checkbox"/> 優れた景観を有する自然や施設などに近接する又は背景とする場合は、主要な視点場からの景観を損なわないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 歴史的建築物など優れた景観資源の背景を保全することが必要な地域においては、その背景景観を損なわないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 尾根付近では、稜線のシルエットを乱さない位置や高さとする。
	具体の配慮事項
位置 ・ 規模	<input type="checkbox"/> 主要な視点場からの眺望を妨げない位置及び高さとする。 <input type="checkbox"/> 道路などの公共空間に敷地が接する場合には、その境界線からできる限り後退した位置とする。ただし、調和のとれた街並みの連続性が尊重されている地域においては、道路側の壁面を揃えた位置とすることが望ましい。
	具体の配慮事項
形態 ・ 意匠	<input type="checkbox"/> 周辺の景観と調和し、全体としてまとまりのある形態・意匠とすること。 <input type="checkbox"/> 長大な壁面はできる限り避け、分節や陰影をつけるなど、周囲への圧迫感を与えないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 外観意匠を極力和風基調のデザインとし、周辺建築物との調和に配慮すること。 <input type="checkbox"/> 壁面や屋根など、街並みの連続性やスカイラインの形成に配慮すること。 <input type="checkbox"/> 屋根の形状（勾配など）、向き（妻入り、平入り）、素材などは、街並みの連続性を考慮したものとする。 <input type="checkbox"/> 屋外設備や付帯施設などは、公共空間に露出しないよう努め、当該建築物との一体性の確保に配慮すること。やむを得ない場合は、周辺景観と調和するよう修景や目隠しなどの措置を施すこと。 <input type="checkbox"/> 屋外広告物の設置はできる限り控えること。やむを得ない場合は、その規模を最小とし、建造物や周辺景観との調和に配慮した景観とすること。
	具体の配慮事項

(裏)

色彩	<input type="checkbox"/> 基調色はできる限り彩度を抑えるとともに、周辺景観と調和した色調とすること。
	<input type="checkbox"/> アクセントとして鮮やかな色などを用いる場合は、できるだけ小さな面積とし、周辺景観を損なわないよう配慮すること。
素材・緑化など	<input type="checkbox"/> 屋外設備や付帯施設などの色彩は、当該建築物及び周辺景観との調和に配慮すること。
	<input type="checkbox"/> 多くの色彩やアクセント色を使用する場合は、その数、色彩相互の調和及び周辺景観との調和に配慮すること。
その他	具体の配慮事項
素材・緑化など	<input type="checkbox"/> 周辺景観と調和した素材や地域の風土に合った素材の活用に配慮すること。
	<input type="checkbox"/> 経年変化を考慮して、耐久性及び耐候性に優れた素材の活用に配慮すること。
その他	<input type="checkbox"/> ガラスなど光沢性のある素材を大きな面積で用いる場合は、周辺景観との調和に配慮すること。
	<input type="checkbox"/> 敷地内は、できる限りの緑化に努めるとともに、道路などの公共空間に接する場所への緑化に努めること。
その他	<input type="checkbox"/> 樹姿又は樹勢が優れた既存の樹木がある場合は、その保全に努めるとともに、積極的に修景に活かすこと。
	<input type="checkbox"/> できる限り地域の環境に適した在来種や地域に馴染んだ樹木を選定すること。
その他	<input type="checkbox"/> 建築物などが周辺に与える圧迫感を和らげるよう、樹種や樹木の高さ、植栽位置等を考慮すること。
	<input type="checkbox"/> 屋外照明は、過剰な光量とならないよう配慮すること。
その他	<input type="checkbox"/> 地域特性に応じた色温度とし、あかりの統一感の創出に努めること。
	<input type="checkbox"/> 工事期間中は、周囲の緑化や仮囲いの修景など、周囲の道路からの遮蔽に努める。
その他	具体の配慮事項
その他	特に留意した点

備考 該当する項目の□内に✓印を付してください。

2) 開発行為、土地の開墾、土石の採取、鉱物の掘採その他の土地の形質の変更

共通	<input type="checkbox"/> 地域の特性を考慮し、周辺景観との調和に配慮すること。 <input type="checkbox"/> 行為地において良好な景観を形成している建築物、その他の工作物、樹木などの自然がある場合には、できる限り形状を変えず保全すること。 <input type="checkbox"/> 優れた景観を有する自然や施設などに近接する又は背景とする場合は、主要な視点場からの景観を損なわないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 歴史的建築物など優れた景観資源の背景を保全することが必要な地域においては、その背景景観を損なわないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 尾根付近では、稜線のシルエットを乱さない位置や高さとする。	
	具体の配慮事項	
工法など	<input type="checkbox"/> 土地が不整形となる分割又は細分化は行わないよう配慮すること。 <input type="checkbox"/> 現況の地形をできる限り活かし、長大な法面や擁壁が生じないようにすること。 <input type="checkbox"/> 法面はできる限り緩やかな勾配とし、周辺の植生と調和した緑化を施すこと。 <input type="checkbox"/> 擁壁は周辺景観と調和した形態及び素材とすること。 <input type="checkbox"/> 造成などに際しては、できる限り既存樹木の保全に努めること。	
	具体の配慮事項	
その他	特に留意した点	

備考 該当する項目の□内に✓印を付してください。